

令和8年3月末現在における山岳遭難の発生状況（※暫定値）

年	発生件数 (件)	遭難者数（人）				
		死者	行方不明者	負傷者	無事救出	
R8	5	9	0	0	6	3

鹿児島県内における山岳遭難の発生状況（令和3年～令和7年）

年	発生件数 (件)	遭難者数（人）				
		死者	行方不明者	負傷者	無事救出	
R7	38	41	2	0	19	20
R6	42	48	3	1	20	24
R5	41	47	3	2	20	22
R4	26	27	2	0	12	13
R3	32	34	2	0	17	15

【令和7年の発生状況】

遭難者総数41人中

○ 場所別では

屋久島山系が21人で最多、次いで開聞岳が10人、霧島山系が2人、その他の山岳が8人

○ 態様別では

道迷いが12人で最多、次いで転倒が8人、疲労が5人、このほか、病気など

○ 年齢層別では

60代が9人で最多、次いで20代が8人、70代・40代が各7人、50代が5人、80代が2人、30代・10代・10歳未満が各1人となっています。

